



東宮防災 目 次

大地震シミュレート

1. 大地震が発生しました	2
2. 揺れがおさまりました（地震直後の行動①）	3
3. 揺れがおさまりました（地震直後の行動②）	4
4. 地震後の行動	5
5. 在宅避難	6

今からはじめる防災アクション

自助・共助・公助を考える	8
みんなで考える防災対策	9
AED の設置場所と AED の使い方	10
一次救命処置（BLS）の手順	11
第一中高等学校への避難ルート	12
家族での防災会議	13
緊急連絡先リスト	14
非常持出品・備蓄品リスト	15・16
防災型 LED 照明灯ライン	17

花の森自治会 お役立ちシート

平成 29 年度 ゴミ・資源物の収集カレンダー	19
花の森自治会 ゴミ集積所のルール・マナー	20
平成 29 年度 花の森自治会 役員地図	21
花の森自治会 白地図	22

巻末参考資料

参考資料① 東宮 2 丁目 避難場所マップ	
参考資料② 東宮 2 丁目 電柱・電灯配置図	
参考資料③ 「宮崎県民災害への備え」リーフレット	

東宮防災

大地震シミュレート

もしも南海トラフ大地震が起こったら…

～地震発生から避難生活を想像する～

自宅または自宅周辺で大地震が起こった場合をシミュレートしています。

自身が自宅で被災した場合や、他の家族が自宅で被災した状況をイメージして日頃から震災に備えてください。

1

大地震が
発生しました命を守る時間帯！
地震発生から0分～2分

必要なモノ

解説

普段から
気にしておく事

- ☐ 最優先で自分の命を守ってください
- ☐ 落下物に備え頭と体を守ってください

- ①あわてた行動をとらない。行動は揺れが収まってから(まず身の安全を確保)。
- ②揺れがひどい時にはあわてて火を消しにいかない(思わぬ火傷の可能性)。
- ③車の運転中は、急にスピードを落とさない(ハザード点灯、徐々に減速)。

頭を守るもの(身近にあるカバンやクッションなど)。
頑丈な机の下などに、身を寄せる。



だんごむしのポーズ

揺れを感じたり、緊急地震速報が鳴った時は、身の安全を最優先!!

テーブルの下にもぐるなど落下物から頭を守る。固定していない家具からは離れる。調理中であれば台所から離れる。外にいる時は、かばんなどで頭を守る。

- 災害時の対応や連絡方法などを、家族全員で話し合いルールを決めておきましょう。
- 自宅内の危険な場所や安全な場所がどこなのか確認しましょう。
(例：家具の転倒防止対策等のチェック)
- 避難場所や避難所への経路を昼間と夜間に実際に歩いて確認しておきましょう。

2

揺れが (地震直後の行動①) おさまりました

二次災害を防ぐ時間帯
地震発生から 2 分～5 分



必要なモノ

解説

- ☐ 落ち着いて 火の元確認 初期消火
- ☐ 窓や戸を開け 出口を確保
- ☐ あわてた行動 けがのもと

瓦・窓ガラスなどが落ちてくるので、外に飛び出さない。

ガラスでケガをする危険あり！ 裸足で歩かない。

ライターに火をつけない！ ガスに引火して爆発の危険あり。

不要不急の電話の使用はやめましょう！ 電話回線がパンクします。

- ☐ 靴 ☐ スリッパ ☐ 懐中電灯 ☐ 消火器 ☐ ラジオ

※詳しくは P15 「非常持出品・備蓄品リスト」を参照

大地震の後には、必ず余震がおきます。余震で倒れたり、落下する可能性があるものには近寄らない。また、海岸付近では、津波警報を待つことなく、すぐに高い所に避難しましょう。

また、火災が発生した場合などは無理をしない事が大切です。

初期消火できるのは、火が天井（あるいは自分の身長）まで燃え広がっていない状態までだと言われてます。

3

揺れが (地震直後の行動②) おさまりました

二次災害を防ぐ時間帯
地震発生から 5 分～ 10 分



確認事項

普段から 気にして おく事

□ わが家の安全確認

- 家族の安全確認をします。
- 家屋の被害状況を点検し、余震で被害拡大の恐れがあれば各公園へ避難の準備。 ※参考資料「東宮 2 丁目避難場所マップ」参照
- ラジオ等で情報を収集しましょう。
- あらかじめ家族と緊急時の避難・集合場所を決めておく。
※ P13 「家族での防災会議」参照
- 各公園、及び宮崎第一高校への避難経路を常日頃から確認しておきましょう。(夜間の避難も想定して夜のルートも確認しましょう。)
- 家具の転倒・落下・移動の防止対策をしておく。



4

地震後の行動

まちを守る時間帯
地震発生から 10 分～半日



火災や津波→確かな避難
正しい情報→確かな行動
協力しあって、救出・救護
避難の前に安全確認→電気・ガス



禁止
行動

- 自分勝手な行動は禁止。周りの状況をよく把握し行動しましょう。
- 車での避難は控えてください。

必要なモノ

災害時は電気水道などのライフラインをはじめ、食料の流通が途絶えます。
最低 3 日分 (理想は 1 週間分) の食料・飲料は、普段から家庭で準備しておきましょう。非常持ち出し袋はすぐに持ち出せる場所に。

解説

隣近所で生き埋めになっている人はいないか、火災は起きていないか声をかけあって確認します。生き埋めやけが人がいれば協力しあって救出救助。
子供やお年寄りを安全な場所へ避難・誘導していきます。
避難が必要な時にはブレーカーを切り、ガスの元栓をしめて避難。

5

在宅避難

自宅で安全が確保できるのであれば
在宅避難を開始しましょう。



解説

☐ 自宅の被災状況を確認しよう。

☐ 災害用備蓄等の確認。

自宅での居住が継続できる状況であれば、自宅避難で過ごすのも一つの手
段です。第一高校などの避難所は、住む場所を失った人が避難する場所と考
えて下さい。(津波等が発生した場合、郡司分・東宮1丁目の方々が避難す
る可能性が高い)それ故に少しずつでも日頃からの備蓄をしていきましょう。

※見た目では、家の損傷が激しくなくても余震等で壊れる危険性もありますの
で被災状況をしっかり確認して在宅避難を行って下さい。

必要なモノ

- ①飲料水の確保
- ②冷蔵庫内の食材の利用
- ③根菜類等の腐りにくい野菜、果実の利用
- ④保存食の利用
- ⑤調理器具の確保
- ⑥トイレ用品の確保
- ⑦電源の確保



※詳しくは P15・16 「非常持出品・備蓄品リスト」を参照

東宮防災

今からはじめる
防災アクション

自助・共助・公助を考える

災害被害の軽減は、「自助・共助・公助」の効率的組み合わせで実現されています

自治会では、自助・共助の部分で皆様に防災について考えて頂く機会を増やしていき、情報の提供と共有をしていきたいと考えています。

自助とは

どのような事態においても
「自分の命は自分で守る」という考えです。



阪神・淡路震災においては亡くなった人の8割以上が、地震直後の崩れた家屋等の下敷きになり、亡くなっております。

普段から、地震に備えて住宅の補強や家具の転倒防止などの準備、避難持ち出し袋等に最低3日分(理想は1週間分)の食料の備えなどが必要となります。

共助とは

ご近所や自治会で防災体制を構築すること。
また災害発生時、実際に助け合うこと。



災害時には、個々の力では限界があります。

地域で協力して被害を最小限に抑えたり、被災した人を救助する事が必要です。

大規模災害が発生した際には、消防・警察・自衛隊の災害派遣まで時間がかかる可能性も想定されます。そして家屋の倒壊や、津波からの避難は一刻を争います。

阪神・淡路大震災の際には、要救助者の8割を救助したのは近隣の住民だったそうです。日頃から、防災訓練等に参加し、いざという時に皆で協力しあう事が重要です。

公助とは

自衛隊、消防、警察などの国や地方公共団体の
業務全般の事を指します。



自治会としても、普段から行政と防災訓練等を通して連携を強めていく事を努力します。

国や地方公共団体は減災の為に事前の対策として、避難所の指定、公園などの一時避難場所の整備、建物の耐震化工事に対する助成金の支給、災害情報の周知・徹底、など色々な取り組みを行っています。

みんなで考える防災対策

防災について家族で話し合わなければならない大事なことがたくさんあります

地震に備えて

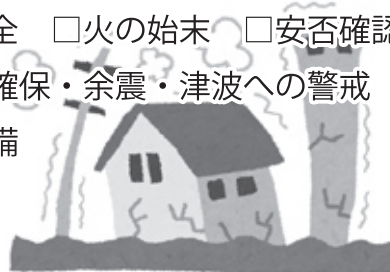
日頃からやるべきことは？

- ☐ 家族での防災会議
- ☐ 防災用品の準備
- ☐ 非常食の準備
- ☐ 家具類の転倒・落下
・移動防止対策



地震発生!! どう行動する？

- ☐ 地震発生時の初動の考え方
- ☐ 身の安全 ☐ 火の始末 ☐ 安否確認
- ☐ 出口の確保・余震・津波への警戒
- ☐ 避難準備



火災に備えて

日頃からやるべきことは？

- ☐ 住宅用火災警報器の設置
- ☐ 消火器の設置
- ☐ 火災を起こさない
意識づくり



火災発生!! どう行動する？

- ☐ 避難 ☐ 初期消火
- ☐ 就寝者への火災発生の伝え方



東宮花の森は、お子様が多い地域になります。災害はいつ何時に発生するかわかりません。災害時の対応や連絡方法を普段から家族全員で話し合って確認する事が大切です。

家族で話し合っておくこと

- ① 自分の住む地域の災害リスクをハザードマップなどで確認する。
- ② 自宅内の危険な個所、安全な場所を確認する
- ③ 避難所への経路を確認し、昼間と夜間実際に歩いてみる
- ④ 家庭内での備蓄品の準備と保管場所の確認
- ⑤ 消化用品など備えができているか
- ⑥ 家族の連絡方法の確認



集合場所の確認

災害用伝言ダイヤル（171）や災害用伝言板などの安否確認ツール、被災地から離れた親戚や友人の家、職場などを中継拠点にする方法があります。今の小さいお子様は、公衆電話の使い方を知らないことも多いようです。また、自宅に固定電話がない家庭も多くなっているので普段から、親の携帯電話番号・職場などの緊急連絡先を家族で共有しておく事が大切です（※P13「家族での防災会議」参照）

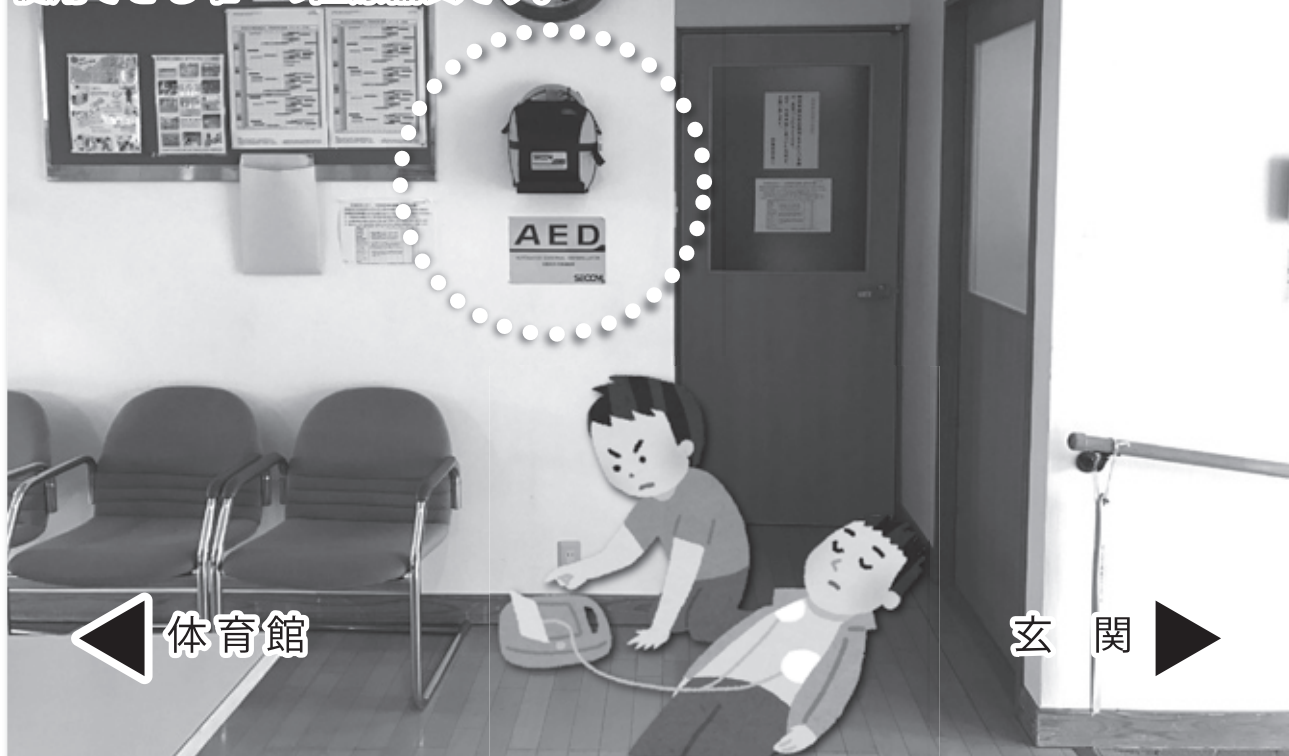
AED の設置場所と AED の使い方

花の森自治会は AED を東宮西集会所に設置しています。設置場所をご確認ください。

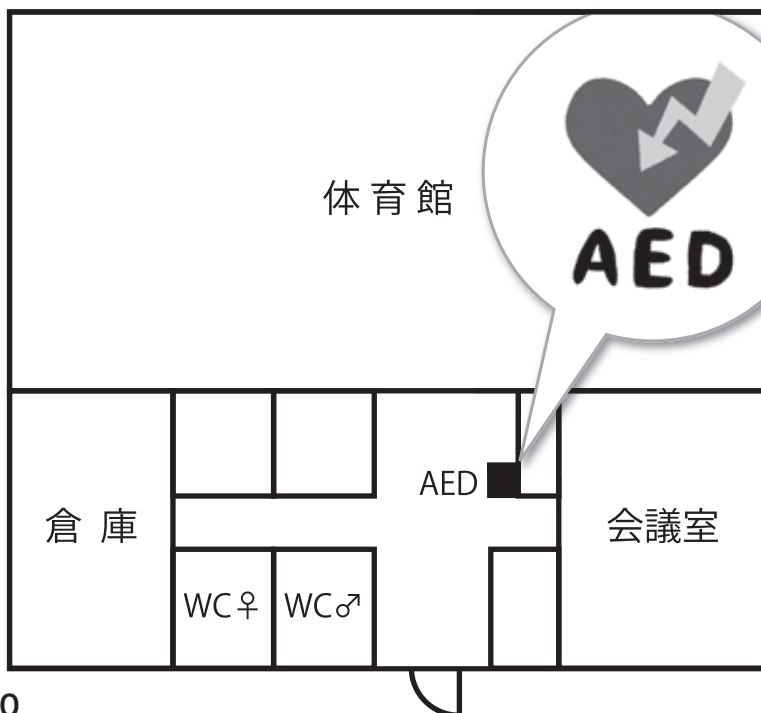
AED とは

Automated External Defibrillator の略称

AED は心臓が心室細動などのけいれん状態（心臓が動いているが血液を全身に流せず機能停止している状態）から正常な心拍に戻すために、一般市民が使用できる唯一の医療器具です。



東宮西集会所見取り図



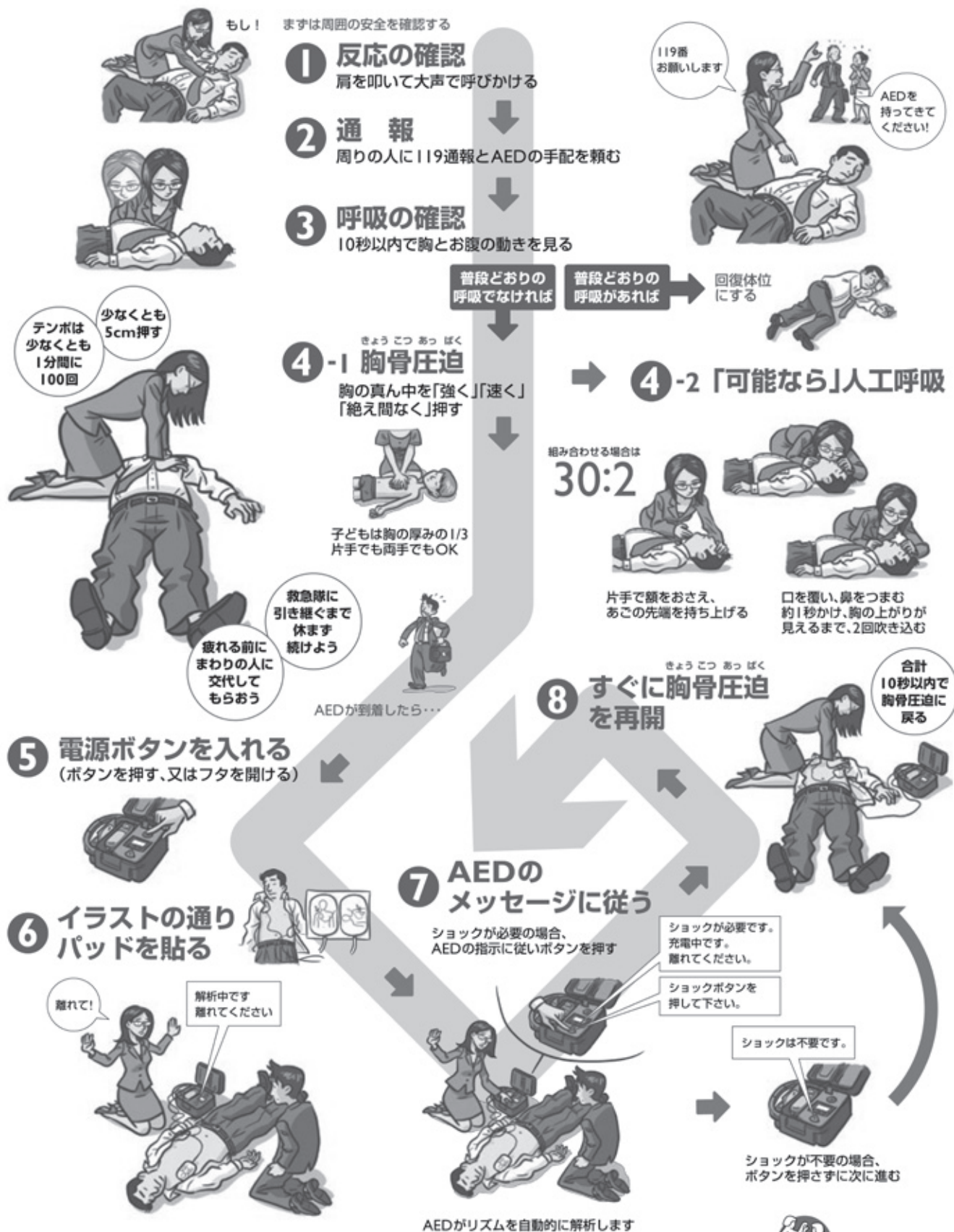
AED が必要な状態は、心室細動など心臓がけいれんしている状態です。

このけいれんしている時間は数分間で、10 分を超えれば助かる確率は数%しかない状況です。

目安として 3 分以内の AED による除細動で、助かる確率は何倍にも上昇します。

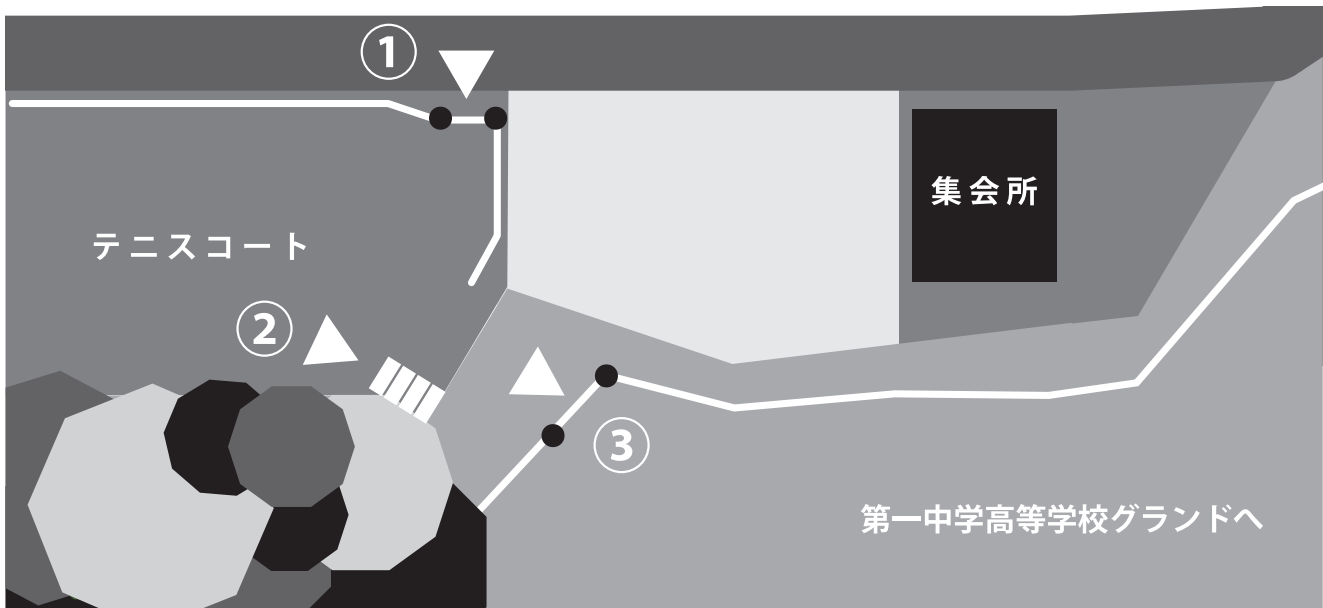
AED の操作方法は難しくはありません。全ての機種に音声による操作ガイドの機能があり、操作ガイドの指示にしたがい落ち着いて操作をしてください。

一次救命処置(BLS)の手順



第一中学高等学校への避難ルート

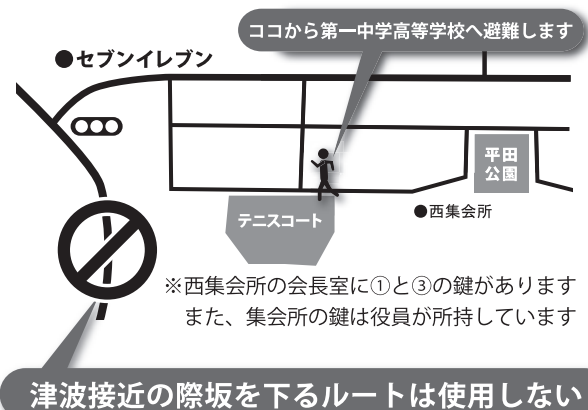
大地震で在宅避難や公園での避難が困難な場合、第一中高等学校の避難所が利用可能。



夜は照明がありません 真っ暗です 懐中電灯が必要です



花の森自治会会員は、①②③のルートを通して第一中学高等学校へ避難することが可能です



注意

揺れが収まった状況で安全に避難できると判断された時に、第一中学高等学校への避難経路を開放します

家族での防災会議

—— 自然災害はいつ起こるかわかりません。家族で一緒に考えてみましょう。 ——



家族が離ればなれになったら・・・
どのように連絡を取り合いますか？
どこに集まりますか？

POINT!

連絡先・連絡方法の確認

- どこに集まるか、どの避難場所に行くか話し合いましょう。
- 電話が繋がらない場合に備え、電話がかかりやすい離れた地域の親戚や知人の連絡先も確認しましょう。
- 避難する時に書置きや張り紙はどこにするか決めておきましょう。
- 災害用伝言ダイヤル 171 や携帯の災害用伝言板の使い方を確認しましょう。

家族の
防災メモ

家族会議を行い 行動の確認をしましょう

避難場所・・・

集合場所・・・



家族の
連絡先

氏 名	生年月日	血液型	連 絡 先

親戚・
知人の
連絡先

氏 名	続 柄	居住地	連 絡 先

緊急 連絡 リスト



警 察	110
消防・救助・救急車	119
災害用伝言ダイヤル	171
海上保安庁	118
時 報	117
天気予報	177

国 富 小 学 校	宮崎市大字郡司分甲2226	0985-56-9576
本 郷 小 学 校	宮崎市大字本郷北方3926	0985-56-7591
本 郷 中 学 校	宮崎市大字本郷南方5460	0985-56-7585
宮崎第一中学高等学校	宮崎市大字郡司分甲767	0985-56-2626
宮 崎 県 立 看 護 大 学	宮崎市まなび野3-5-1	0985-59-7700
宮 崎 大 学	宮崎市学園木花台西1-1	0985-85-1510
宮崎大学医学部付属病院	宮崎市清武町木原5200	0985-85-1510
宮崎市郡医師会病院	宮崎市新別府町船戸738-1	0985-24-9119
宮 崎 県 立 病 院	宮崎市北高松町5-30	0985-24-4181
宮崎市災害対策本部	宮崎市橘通西1-1-1(市役所内)	0985-21-1889
宮崎市危機管理課	宮崎市橘通西1-1-1(市役所内)	0985-21-1730
宮 崎 南 警 察 署	宮崎市大字恒久878	0985-50-0110
国 富 交 番	宮崎市本郷南方2450-3	0985-56-3195
宮 崎 市 南 消 防 署	宮崎市大字本郷北方3160-1	0985-53-0033
九州電力 宮崎電力センター	宮崎市橘通西4-2-23	0985-24-2141
宮 崎 ガ ス 宮崎支店	宮崎市阿波岐原町野間311-1	0985-39-3911
宮 崎 市 上 下 水 道 局	宮崎市鶴島3-252	0985-24-1212

※空欄は家族で話し合い必要に応じてご記入ください

非常持出品・備蓄品リスト

非常持出品リスト（代表的な物）

- | | |
|---------------------------------|--|
| ☐ 貴重品 | ☐ 現金（小銭も多めに） ☐ 預金通帳（コピー） ☐ 健康保険証（コピー）
☐ 運転免許証（コピー） ☐ その他 |
| ☐ 避難グッズ | ☐ 非常用持出袋 ☐ 懐中電灯・ヘッドライト ☐ ヘルメット等
☐ その他 |
| ☐ 情報グッズ | ☐ スマートフォン・携帯電話・充電器等 ☐ 携帯ラジオ
☐ 乾電池 ☐ 筆記用具 |
| ☐ 飲料水・食料 | ☐ 飲料水（ペットボトル 500ml を 3 本以上）
☐ 非常食（火を使わずに食べられるもの等） |
| ☐ 救急用品 | ☐ 救急用品セット（絆創膏・消毒薬・胃腸薬・ガーゼ・包帯等）
☐ 持病薬（処方箋の控えと一緒に用意） |
| ☐ 衛生用品 | ☐ マスク ☐ 簡易トイレ ☐ ティッシュペーパー
☐ トイレットペーパー ☐ ウェットティッシュ |

※他にも多数あります。別紙：宮崎県制作の「常時携行品・非常持出品・備蓄品チェックリスト」を参考にしてください。

備蓄品リスト（代表的な物）

- | | |
|--------------------------------|--|
| ☐ 水 | ☐ 飲料水（大人 1 人→1 日 3 ℓ×3 日～1 週間分）
☐ 生活用水 ☐ ポリ容器 |
| ☐ 衣 類 | ☐ 下着・上着
☐ 毛布 ☐ 手ぬぐい・タオル |
| ☐ 食 料 品 | ☐ お米やアルファ化米 ☐ 調味料
☐ レトルト食品・缶詰・カップ麺等（3 日～1 週間分） |
| ☐ 燃 料 | ☐ カセットコンロ（卓上用）
☐ 固形燃料・予備のカセット ☐ ライター |

※他にも多数あります。別紙：宮崎県制作の「常時携行品・非常持出品・備蓄品チェックリスト」を参考にしてください。

P6 在宅避難 必要なモノ詳細

①飲料水の確保

水は1人1日3ℓ必要。ジュースや牛乳などを1部代用するように用意し、消費したら、買い足すという流れを習慣化しましょう。また、井戸水、湧水など近くに利用可能な水源がある場合は施設の保守を行い、災害に備えましょう。

飲用には使えませんが、お風呂のお湯は生活用水として使えるので新しいお湯を溜めるまで残しておきましょう。

②冷蔵庫内の食材の利用

1日目から2日目にかけては冷蔵庫・冷凍庫の中身で過ごしましょう。冷凍庫の中身はクーラーボックスに詰め替えることで保冷剤としての役割も果たすので、他の食材を長持ちさせることができます。

③根菜類等の腐りにくい野菜、果実の利用

たまねぎ、ジャガイモなどの根菜類やりんごなどの果実は常温でも長期保存ができます。毎日の献立に使いながら効果的に備蓄しましょう。

④保存食の利用

缶詰、乾麺(ゆで時間の短いラーメンなど)、フリーズドライ食品(スープ等)、漬物、乾物、菓子類(チョコレートなど)などの保存に向く食品は、冷蔵庫の中身と合わせて家族が1週間分以上食べていけるだけの量を備蓄し、新しいものが常備されているように日頃から食べたら買い足すようにしましょう。

⑤調理器具の確保

カセットコンロとガスボンベがあると災害時の献立の幅が広がります。また、暖かい飲食物は免疫力の維持にもつながります。ガスボンベは普段から鍋料理などに使えるので、多めに備蓄をしておくといえます。ガスボンベ1本で約60分の使用が可能です。

⑥トイレ用品の確保

排泄物を衛生的に処理するための備蓄として、尿を固める凝固剤や袋などがあります。排泄回数を目安は「家族の人数」×5回/日×7日程度となります。

⑦電源の確保

乾電池や電池式の携帯電話充電器など、情報収集のための機器に使用する電源を用意しましょう。

平成版「稲むらの火」

防災型 LED 照明灯ライン ～命を守る灯りの設置プロジェクト～

平成 24 年に東宮からまなび野にかけての県道 375 号線にきたる大震災に備え、この防災型 LED 照明灯ラインは設置されました。

また、防犯灯の設置を望む住民の強い要望と、防災・減災のためのライフライン確保の構想に賛同した方々の協力（PFI 方式）で実現した、地域みなさんのための照明でもあります。

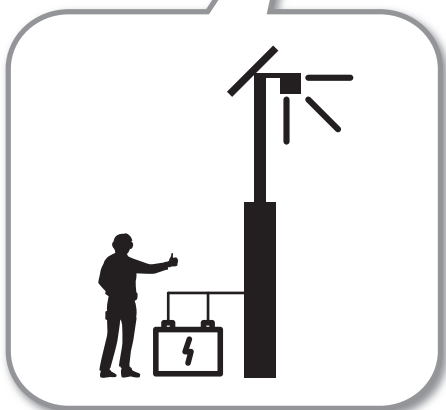
この災害対応型の照明は、震災等で電力の供給が絶たれた時にも自動車のバッテリー、またはポータブル発電機にて電力が供給可能で、明るい中での避難誘導や一時避難ができる「避難誘導路の確保」の理念にかなう設備であります。

※PFI（Private Finance Initiative）とは公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法（内閣府 HP より）

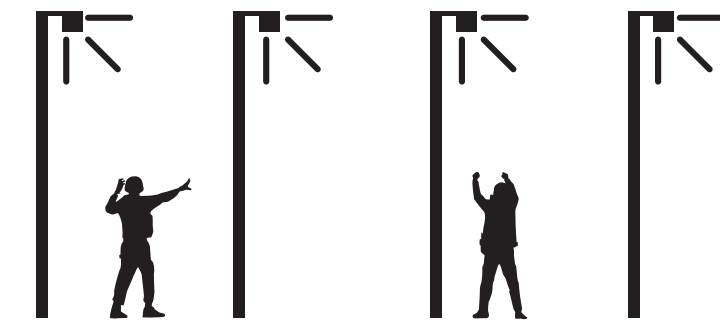
当時の花の森自治会長丸山竜雄氏がこのプロジェクトの為に尽力され 2012 年に完成しました



防災型 LED 照明灯ラインの特徴



停電時でもバッテリーをつなげば



防災型 LED 照明ラインは点灯します

「稲むらの火」物語の概要：村の高台に住む庄屋の五兵衛は、地震の揺れを感じたあと、海水が沖合へ退いていくのを見て津波の来襲に気付く。祭りの準備に心奪われている村人たちに危険を知らせるため、五兵衛は自分の田にある刈り取ったばかりの稲の束（稲むら）に松明で火をつけた。火事と見て、消火のために高台に集まった村人たちの眼下で、津波は猛威を振るう。五兵衛の機転と犠牲的精神によって村人たちはみな津波から守られた。（wikipedia「稲むらの火」より / 物語と史実は異なります）

生き抜くために、望みを捨てるな
救助は必ずやってくる

強い精神力で3日は生き延びよう
後は10日も生きられる
食物がなくても
水さえあれば10日は生存できる
避難開始後24時間は
前日に摂った水と食料で十分である
少ない水と食料を
最初から飲んだり食べる必要は全くない

飢えや渇きによって死ぬには長時間かかる
最後の1秒まで生き延びる努力をしよう
死を急ぐ理由は何にも無い

生き抜くために、望みを捨てるな
救助は必ずやってくる

「生存指導書」より(一部変更)

ゴミ・資源物の収集日カレンダー

平成29年度版 (東宮2丁目用)

期間: 2017年4月1日~2018年3月31日
粗大ゴミは宮崎市コールセンター ☎25-2111 に事前連絡

分類	燃やせるゴミ ※指定ゴミ袋(赤)使用	燃やせないゴミ ※指定ゴミ袋(青)使用	プラスチック製容器包装類 ※透明または半透明袋使用	古紙・古布 ※透明袋・ヒモ使用	空き缶・空ビン ペットボトル	その他の 資源
具体的な内容物	● 紙くず ● 生ゴミ (水気をよく切ってなるべく袋の中心に!) ※生ゴミが散乱するのは新聞等でくるんで解消しましょう! ● 剪定枝 ● 落ち葉 ● 草 ● 木製家具 (1m未満) ● プラマークのないプラスチック・ビニール製品 (ビデオテープやカセットテープ、CD・DVD等) ● 皮革製品 ● 歯ブラシ ● ゴム製品 ● 洗面器 ● 布団 ● はんてん ● まくら ● じゅうたん ● ぬいぐるみ ● くつ下 ● ストッキング ● ストロー ● 汚れたプラスチック製品	● 家電製品 (リサイクル法対象外、使用済小型家電以外) ● 割れガラス ● 陶磁器 (食器) ● 刃物類 ● 電球 ● 傘 ● アルミホイール ● 三輪車 ● 使い切ったライター ● チャイルドシート (1m未満) ● 割れた蛍光管 割れた食器等は、紙に包んで「キケン」と表示して、指定袋に入れてください。 ※金属類 (大部分が金属のもの) は透明袋に!	● プラスチック製品 (プラマーク付) ● 発泡スチロール製の食品トレイ ● 弁当の容器 ● プリン・ヨーグルトの容器 ● お菓子等のビニール袋 リサイクルするので、しっかりと内容物を洗い流してください。洗いきれない物は燃えるゴミに出してください。	● 衣類 ● 肌着 ● タオル ● カーテン ● 毛布 ● シーツ ● 新聞紙 ● 書籍類 ● 紙パック ● 段ボール 紙パックは、紙パックのままにしてください。	※透明または半透明袋使用 ● アルミ缶 ● スチール缶 ● 缶詰の空き缶 ● のり缶 ● スプレー缶 ● ガラスびん スプレー缶は必ず中身を使い切り、風通しのいいところで穴をあけ、ガス抜きをしてから出してください。 ※ペットボトルのふた・ラベルは外してプラスチック製容器包装類へ	※透明袋使用 ● 水銀が入ったままの体温計や温度計 ● 鉄アレイ・フェンス、鎖などの破砕困難物 ● 割れてない蛍光灯・蛍光管 ● 乾電池 (ボタン・充電池以外) 蛍光灯・蛍光管はスリッパ(入って)いた紙ケースに入れて割れないようにしましなう。 (第2木曜日)
	(毎週 火・金曜日)	(第4月曜日)	(毎週木曜日)	(第1・3木曜日)	(第2・4木曜日)	
	4月 4 7 11 14 18 21 25 28	24	6 13 20 27	6 20	13 27	13
	5月 2 5 9 12 16 19 23 26 30	22	4 11 18 25	4 18	11 25	11
6月 2 6 9 13 16 20 23 27 30	26	1 8 15 22 29	1 8 15 22 29	1 15	8 22	8
7月 4 7 11 14 18 21 25 28	24	6 13 20 27	6 13 20 27	6 20	13 27	13
8月 1 4 8 11 15 18 22 25 29	28	3 10 17 24 31	3 10 17 24 31	3 17	10 24	10
9月 1 5 8 12 15 19 22 26 29	25	7 14 21 28	7 14 21 28	7 21	14 28	14
10月 3 6 10 13 17 20 24 27 31	23	5 12 19 26	5 12 19 26	5 19	12 26	12
11月 3 7 10 14 17 21 24 28	27	2 9 16 23 30	2 9 16 23 30	2 16	9 23	9
12月 1 5 8 12 15 19 22 26 29	25	7 14 21 28	7 14 21 28	7 21	14 28	14
1月 5 9 12 16 19 23 26 30	22	4 11 18 25	4 11 18 25	4 18	11 25	11
2月 2 6 9 13 16 20 23 27	26	1 8 15 22	1 8 15 22	1 15	8 22	8
3月 2 6 9 13 16 20 23 27 30	26	1 8 15 22 29	1 8 15 22 29	1 15	8 22	8

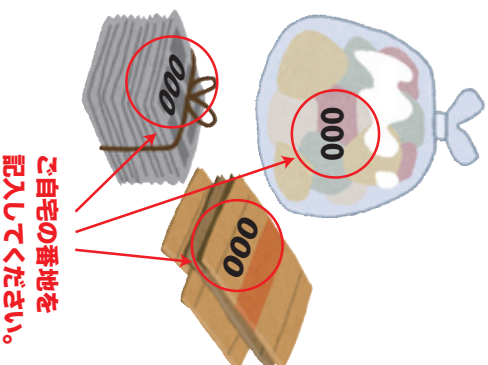
■収集に間に合うように、当日の朝7:00~8:30までに最寄りの集積所に出してください。 ■集積所に出す袋等には全て必ず番地記入をお願いします。 ■年末年始以外は、祝祭日も回収されます (○印のついた日)。

花の森自治会 ゴミ集積所のルール・マナー

ゴミの分別で不明な点がありましたら環境業務課までお問い合わせください。
環境業務課 ☎(0985) 21-1762

番地の記入忘れてませんか？

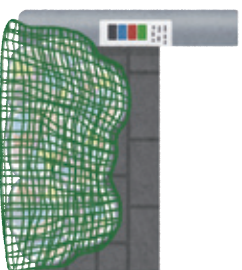
東宮 2 丁目では、集積所に出すゴミには**ご自分**の**住所の番地**を記入することになっております。これは万一収集されずに集積所に残された場合、清掃当番の方が記入の番地を頼りにご自宅まで配達するようになっていく為です。番地の記入がないと集積所に置いたまま、そのゴミを出した方が気付いて取りに来るのを待たなければなりません。多少面倒だとは思いますが、集積所の美化の為ご協力をお願いいたします。



未回収のゴミ袋に番地の記入が無い場合は再分別の為、ゴミ袋を開封します。その際に何らかの手掛かりになるお名前や住所がわかった場合、ご自宅までお届けすることがあることをご了承ください。

ゴミは確実にネットの中に!!

各集積所にネットが置いてありますので、特に「燃やせるゴミ」「風に飛ばされそうなゴミ」等はネットの中にキッチンと入れてください。カラスや猫に荒らされたり、道路上に散乱するのを防止します。ネットの上に置いたり絶対にしてください。



ゴミ出し時の交通事故に注意

私たちの利用するゴミ集積所は沿線の歩道に設置しておりますので、車を利用してゴミを出される方もおられると思います。ただ、どうしても「路上停車」になり通行の妨げになってしまいますので安全への配慮が必要です(雨の日は特に)。朝の出勤時の混雑を避ける為にも近隣の方々は出来るだけ徒歩でゴミ出しするようにお願いします。

資源物は「種類」をよく確認してください。

毎週木曜日は「資源物」の収集日になっておりますが、**週によって収集される「資源の種類」が異なります。**裏面の分別表を参考にしてください。また、毎月発行している「花の森通信」の裏面にゴミ収集日を載せたカレンダーがありますのでご利用ください。一人が間違えると間違いが連鎖するケースもありますので、各自でよく確認するようにしてください。

第1・第3 木曜
● プラスチック製 容器包装類
● 古紙・古布

第2・第4 木曜
● プラスチック製 容器包装類
● 空缶・空ビン
● ペットボトル

第2 木曜
● その他の資源

第5 木曜
● プラスチック製 容器包装類
※プラのみです

台風時のゴミ収集中止について

台風が接近している時は、自動音声の専用電話(27-3588)やMRT(宮崎放送)データ放送、宮崎ケーブルテレビデータ放送、宮崎市ホームページ等で確認をお願いいたします。自治会からもメール・SNS等にて情報を発信します。

